

令和4年度 自己評価結果公表シート

幼保連携型認定こども園 西光こども園

1. 本園の教育・保育目標	
理念	・生かされているいのちにめざめともに育ちあう ・豊かな宗教的情操教育の中で、心身の調和的な発達を図り、一人ひとりの幼児が幸せな生活のできるいしづえを築く
目標	生命を大切にする子どもを育てる ・まことに生きる（自立性） ・思いやりのある子（協調性） ・話を良く聞く子（自律性） ・仲良くする子（社会性）
2. 評価項目	
① コロナ禍で自分たちにできることを皆で考え話し合いながら思い込みではなく共通理解をして次に進むようにしていく。子ども達も遊びを通して自ら考え伝え行動する機会を増やす。 ② 地域の方や一人暮らしの方等が子供たちと関わるによりお互いに笑顔が増えて生きる力が湧いてくるような関わりを考えて実践する。生命のつながりをしっかり伝える。 ③ 広報のインスタグラム等を充実させる。 ④ 教育・保育の内容を確認しながら子供たちと共に成長できる日々を過ごす。 ⑤ 保育環境の見直しをしながら環境を整える。	
3. 評価項目の達成及び取り組み状況（自己評価）	
① 共通理解をして次に進むようにしていったが話し合いの時間、理解が不十分でばたばたしたところがあった。インカムをスムーズに全員が使用できるようにしていく。子ども達が遊びを通して自ら考え伝え行動する機会はより持てるように努めた。 ② 生命の大切さ(生かされている命)は日ごろから教育・保育の根底にあるものである。生命のつながりを伝えることは保育の中で災害、自然事象、絵本、紙芝居、栽培等いろいろなもの、機会を通して伝えることに努めた。地域の方や一人暮らしの方等と子供たちとの関わりは感染症の関係によりできなかった。 ③ インスタグラム、HP 等は外部を招待できない、参加できない状況にあることからできるだけ知っていただくように努めた。個人情報に留意しながら公開した。 ④ リモートも含め研修はできるだけ参加した。研修を報告して皆で学んだ。教育・保育の内容、行事、処遇も気になるところは情報を共有しながら共に成長できることを考えた。 ⑤ 保育環境は出来るだけ保育しやすい環境、安心・安全にできるように努めた。毎日の安全点検と月初めには担当による各部屋の保育環境点検など行った。保育書類など今後も環境の見直し、確認をしながら行っていく。	
4. 来年度、重点的に取り組む目標・計画	
1 皆で考え話し合いながら共通理解をして確認をし、次に進むようにしていく。子ども達も遊びを通して自ら考え伝え行動する機会を増やす。 2 地域の方や一人暮らしの方等が子供たちと関わるによりお互いに笑顔が増えて生きる力が湧いてくるような関わりを考えて実践する。生命の大切さをしっかり伝える。 3 HP やインスタグラムの充実 4 子ども達の状況を家庭、関係機関と連携をとり記録、その都度報告をして共通理解する。 5 パソコンや保育材料の使い方、物を大切にする事等も含め保育環境の見直しをし、整える。	